

教科	介護実習	学科・学年	社会福祉科・1年	単位数	2単位
目標	1. 実習先である施設や事業所がどのようなところかを理解する。 2. サービスを利用されている高齢者（利用者）に接し、一日の生活の様子や流れを理解する。 3. 介護職の業務内容及び役割について理解する。 4. 利用者に対する基本的な生活支援の技術を身につける。				
評価方法	1. 実習の出席状況 2. 実習態度 3. 実習記録の記入状況 4. 自己評価 5. 実習先からの評価や巡回する先生方による評価 などから総合的に評価する。				
評価観点	【関心・意欲・態度】挨拶や言葉遣い、健康管理に留意し、利用者の尊厳を大切にする態度で、意欲的に実習に取り組むことができる。 【思考・判断】利用者の状況に応じた援助について考えることができる。 【技能・表現】基本的な生活支援の技術を身につけている。観察技法を用いて観察した内容を、適切な表現で記録することができる。 【知識・理解】実習先である施設や事業所、介護の業務、利用者の生活の特性を理解している。				
使用教科書	介護総合演習（メヂカルフレンド社）				
使用副教材	なし				
月	学習内容	学習のねらい	学習活動		
4					
5					
6					
7					
反省					
8					

9			
10			
11			
12			
反省			
1 2	介護実習Ⅰ (現場実習9日間) 平成24年 1月17・18・19日 1月24・25・26日 1月31・2月1・2日 ・特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)での実習(3日) ・介護老人保健施設での実習(3日) ・デイサービスセンターでの実習(3日)	□実習先でのサービスを利用されている人(利用者)の一日の生活の流れがわかる。 □どのような人が、サービスを利用されているかを知る。 □利用者と積極的にコミュニケーションをとることができる。 □事業所における介護の実際を見学し、どのような場合にどのような介護が必要かがわかる。 □基本的な介護技術が身についており、実践できる。 □適切な記入方法で実習記録が作成できる。 □自己の実習目標を立てることができる。 □目標の達成を目指し、計画的に実習に取り組むことができる。 □基本的なマナー(挨拶、言葉遣い)が身についている。	・実習目標、出席簿の提出 ・実習記録の提出 ・課題(記録)の提出 実習先の概要、オリエンテーション、 デイサービスセンターでのまとめ、反省・感想 ・健康管理表の記入 ・実習項目チェックリストの記入 ・自己評価 A□ B□ C□
反省			